

## 山形のNPO 気仙沼などでプロジェクト始動

雇用・就労面から日本大震災の被災者支援を続ける山形市のNPO法人「I・V・Y」(国際ボランティアセンター)が、被災した保育施設等の再三を後押しする「がんばれ！託児所プロジェクト」を気仙沼市などで本格始動させた。I・V・Yに寄せられた資金を保育士の人件費に充てる手法で、被災地の空白で環境改善を担う。

I・V・Yのスタッフは任意で気仙沼市を拠点に活動し、障害や休止に迫り込まれた保育施設が少なくない現状に直面。「幼い子を預けて働ける環境を取り戻す必要がある」(業務局長の佐藤 千代さん)と託児所プロジェクトを思い立った。

支援するのは、震災で廃置となった保育所の保育士たちがボランティアで手当てした「つばみ保育園」など、気仙沼市内の認可外の保育施設のみ所。当面は来年3月までの予定で、保育士の人件費をI・V・Yが負担する。

# 託児支援で就労後押し

## 保育施設の人件費を負担

「つばみ保育園」では、開所した昨年9月以来、保育士たちが失業保険を待てるなどしながら無報酬で保育に当たっていた。I・V・Yは、失業保険が切れた後も持続して保育の場を維持させることが、地域社会の再建に欠かせないと判断。山形市の託児支援に乗り出した。

I・V・Yは今年3月まで、資金を再三に被災家庭の片付け作業などに活用する「キヤッシュ・フォー・ワーク(CFW)」を担い、震災で職を失った被災者への支援してきた。託児所プロジェクトはその応用と行方付けられ

「つばみ保育園」では、開所した昨年9月以来、保育士たちが失業保険を待てるなどしながら無報酬で保育に当たっていた。I・V・Yは、失業保険が切れた後も持続して保育の場を維持させることが、地域社会の再建に欠かせないと判断。山形市の託児支援に乗り出した。

I・V・Yは今年3月まで、資金を再三に被災家庭の片付け作業などに活用する「キヤッシュ・フォー・ワーク(CFW)」を担い、震災で職を失った被災者への支援してきた。託児所プロジェクトはその応用と行方付けられ

保育士たちがボランティアで始めた「つばみ保育園」。山形市の支援が運営の大きな力となっている「気仙沼市」

「つばみ保育園」では、開所した昨年9月以来、保育士たちが失業保険を待てるなどしながら無報酬で保育に当たっていた。I・V・Yは、失業保険が切れた後も持続して保育の場を維持させることが、地域社会の再建に欠かせないと判断。山形市の託児支援に乗り出した。

I・V・Yは今年3月まで、資金を再三に被災家庭の片付け作業などに活用する「キヤッシュ・フォー・ワーク(CFW)」を担い、震災で職を失った被災者への支援してきた。託児所プロジェクトはその応用と行方付けられ



## 被災地の子育て環境改善